

## 市役所働き方改革の必要性



くらもとたかふみ  
藏本隆文議員

なのは、職員の仕事への取り組みが活性化できること。市長にトツプダウンでやつていただきたい。

**議員** 市役所での長時間労働の現状と、改善に向けての今後の取り組みは。

**市長** 多くの部署で夜遅くまで残業をしており、前年同月比でも30%以上の増加で、部課長に健全化を指示している。また長時間労働抑制に特化したシステムの導入や、管理手法を検討しており、午後8時完全退庁などの取り組みも視野に入れている。

## まちづくり協議会へ健康懸賞金を



**議員** ぐるりんウォーカー、健康ボートの3施策への参加者増の仕掛けとして、賞金を設定し、参加率をまちづくり協議会で競争していただきたい。これらを実行すれば案外早く健康を実感でき、医療費、介護費が抑制され、次世代の負担軽減につながる。まちづくり協議会へも1つの目標に一齊に働きかけることで、運動以外の方法にも波及して活性化するのでは。

**市長** 金額以外は、提案には100%完璧に賛成する。目標をうまく設定し、元気に長生きしていたい。

**議員** 午後8時と言わず定時を目標にしていただきたい。自分の時間が多く持てれば、独身なら婚活、家庭を持つなら家事や育児の分担ができる、もう一子持ちたいという希望もかなえられるので。また、人件費や光熱費が削減でき、施策の財源に回せる。そして一番大事

## 防犯対策の強化に向けた支援を



おおもとくにみつ  
大本邦光議員

**議員** 子どもたちの保護に視点を置いた防犯対策は、女性や高齢者を含む市民全体の安心安全につながると考える。市内の保・幼・小・中学校（園）の防犯対策の現状は。

**市長** 各学校園所が作成した年間指導計画に基づいて、不審者等への対応に関する指導を行っている。また、防犯カメラを小学校5校、中学校2校に設置している。

**議員** 今後の防犯カメラの設置計画は。

**教育長** 学校からそうした要望等があれば検討してまいりたい。教育委員会として学校と話をする中では、やはり地域ぐるみで防犯対策を進めることが最優先だと考えている。

## 子育て支援の対策について



**議員** 保育士が安心して働きやすい環境こそが待機児童解消の要因の一つではないか。考えをたずねる。

**市長** 国の制度に加え独自の取り組みを行い、働きやすい環境づくりに努めている。安心して子供を産み育てられる社会環境を整えることは、人口減少の歯止めとなる希望の光になるものと考える。

**議員** 保育士が復職しやすい多様な働き方を可能とする、短時間正社員制度の取り組みについてたずねる。

**総務部長** 現在も、短時間勤務の制度は導入してあるが、今後は拡充なども検討してまいる。